

2 避難

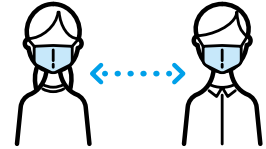
避難所での感染症対策に協力を

「マスク着用」「手洗い」「身体的距離の確保」

避難場所では「3密(密閉、密集、密接)」が重なりやすくなり、新型コロナウイルスの感染リスクが高くなると考えられます。市では換気や衛生対策の徹底などに努めますが、市民の皆さんも避難場所に避難するときは、次の感染症対策に留意してください。

●避難場所内で全員が行う感染症対策

- ①避難の際はマスクを着用し、感染症対策をとる。
- ②こまめな手洗い、せきエチケットを徹底する。
- ③避難者同士の十分な距離を確保する。
- ④体調に不安があるときは、早めに避難場所にいる職員に相談する。
- ⑤マスク、体温計などの感染症予防に必要な物を非常用持ち出し袋に入れ、避難先に持参する。



感染防止のため「分散避難」の検討を

自宅、知人宅、車中などでの避難も視野に

市の指定緊急避難場所(以下、避難場所)に行くことだけが避難ではありません。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されるなか、避難場所が過密状態になることを防ぐため、自宅での安全確保が可能な方は感染リスクを負ってまで避難場所に行く必要はありません。安全な自宅、親戚や友人の家に分散避難することをこれまで以上に積極的に検討してください。

ただし「在宅避難」や「分散避難」が困難な方は迷わず避難場所へ避難してください。

指定緊急避難場所以外の避難先(例)

- 近くのより安全なお宅(ご近所避難)、安全な親戚や友人・知人宅、ホテルや旅館
- 車で安全な場所で待機(短期間の車中泊)

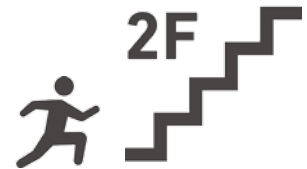
排水ポンプ停止の場合は垂直避難を

自宅の2階以上の山から離れた部屋に避難

円山川の水位(立野水位観測所)が7.16mを越え、さらに上昇する恐れがある場合は、堤防の決壊という、人命にかかわる最悪の事態

を防ぐため、排水ポンプ停止という苦渋の決断をします。ポンプが停止すると、降った雨が排水されなくなるため道路や住宅地などの水位が一気に上昇し、避難場所などへの「水平避難」が困難になります。

その場合、市では、自宅の2階以上の山から離れた部屋で過ごしてもらうよう市民の皆さんに垂直避難を防災行政無線で呼び掛けます。



3 事前準備

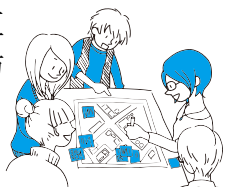
地域で支援計画の策定を

避難行動援護者個別支援計画

地域での助け合いの精神に基づき、高齢者や障害のある方等の避難を支援するため、あらかじめ地域で避難行動援護者個別支援計画を作成しておくことは大変重要です。

災害に備え、区長さん、民生委員、消防団などの皆さんが話し合っ「いつ、誰が、誰を、どこに」避難させるかを事前に決めておいてください。

なお、豊岡市の災害時要援護者名簿に登録されている方は、地域支援者(区や自主防災組織の役員、消防団など)に個人情報を提供することに同意されています。



防災マップで避難行動の事前確認を

平时に家族みんなで話し合い、考える

市では、区や自主防災組織、家族、個人で、水害や土砂災害から身を守るための計画を考へるときに参考となる「豊岡市防災マップ」を359の区(町内会)ごとに作成しています。

自宅周辺の「浸水想定」や「土砂災害警戒区域」、さらには「堤防が決壊した場合の家屋倒壊危険区域」などを確かめ、平时に家族みんなで避難経路を確認しておきましょう。

また、いざという時に、自宅に留まる場合と市が指定した避難場所に避難した場合のどちらが危険性が低いのかも合わせて考えておきましょう。

手元にない方はホームページから「防災マップ」で検索すると、ダウンロードできます。

※掲載している情報は編集時点(6月16日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

非常持出し品・備蓄品の準備・確認を

感染症予防の物品も忘れずに

■非常用持出し品

避難所での生活に必要なものはいつでも素早く持ち出せるよう、事前にリュックサックなどに入れて備えておくことが大切です。また、感染症防止のための物品もあわせて用意してください。

非常用持出し品リスト

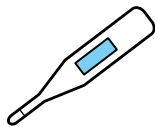
- 非常食・飲料水
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 下着・着替え
- 携帯用トイレ
- 服用薬
- 予備の電池、携帯電話用のモバイルバッテリー
- ラップ・ビニール袋



+

【新型コロナウイルス防止対策】

- マスク
- 上履き
- アルコール除菌
- ウェットティッシュ
- 消毒液
- 体温計
- ごみ袋

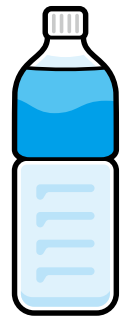


■備蓄品

災害発生時、電気やガス、水道をはじめとしたライフラインが止まってしまった場合に備えて、日ごろから飲料水や非常食等を最低3日分は備蓄しておきましょう。キャンプ用品は防災グッズとして活用できるものがたくさんあります。

備蓄品リスト

- 飲料水
人が1日に必要な水の量は3リットルといわれています。また、断水に備え、風呂に水を貯める方法も有効です。
- 食料
インスタントラーメン、パスタ、レトルト食品、缶詰など
- 日用品
カセットコンロ、カセットボンベなど



備蓄のコツ「ローリングストック」

普段から日持ちのする飲み物や食糧、それに日用品を多めに買い置きしておき、賞味期限が近づいたものから使って、その分を買い足していく方法です。

4 情報入手

自ら進んで防災情報の入手を

市では、災害時、防災行政無線や市ホームページで災害情報を随時発信しますが、皆さん自身も、気象情報や雨量情報、河川の水位情報、その他必要な情報を自ら進んで入手しましょう。

豊岡市防災マップ

自分の住んでいる区の防災マップが入手できます。
<https://www.city.toyooka.lg.jp/bosai/bosai/bosaimap/index.htm>



気象庁ホームページ

正確な防災・気象情報をタイムリーに入手できます。
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

川の防災情報

国土交通省からの雨量や河川の水位情報が入手できます。URL：<https://www.river.go.jp/index>



『とよおか防災ネット』登録制メール

災害時の防災行政無線の放送内容がメールで届きます。
<http://bosai.net/toyooka/>

スマホやホームページで情報入手

また、平時に「とよおか防災ネット」のメール配信登録や「ひょうご防災ネット」のアプリをダウンロードしておく、災害時に自動的に情報が配信されます。

『ひょうご防災ネット』スマートフォンアプリ

ダウンロードすれば、災害時の防災行政無線の放送内容が配信されます。



Android



iPhone



兵庫県地域別土砂災害危険度

土砂災害の危険度が高まっている地域が確認できます。
<http://sabo.civil.pref.hyogo.lg.jp/chiikidosya/>

YouTube 円山川 奈佐川 出石川 Live配信

河川の状況をリアルタイムで確認できます。なお、一定時間でカメラの映像が切り替わります。
https://www.youtube.com/watch?v=2ZgN_SINwUk



※掲載している情報は編集時点(6月16日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。